



敬愛

校長 吉田 修

〒183-0027 府中市本町 4-16

☎ 042-361-9303

ホームページ <http://www.fuchu03c.fuchu-tokyo.ed.jp/>

校長 吉田 修

今日は、ある大学の心理学講座で実施された 2 つの実験を紹介します。それは 400 人の学生に「自分が人にしてあげた親切な行動」と「自分が人にして貰った親切な行動」を、それぞれ思いつくまにできるだけたくさん書き出して貰うという実験です。

その結果を集計すると、「人に親切にしてあげた行動」の方が「自分がして貰った親切な行動」よりも、およそ 35 倍も多かったそうです。人間がいかに「自分がしてあげた」ことばかりを覚えているかが、わかる実験結果となったそうです。もちろん実際にはそんなはずはありません。上り坂と下り坂が同じ数だけあるように、きっと誰もが人からの親切も同じだけ、あるいはそれ以上に受けているはずです。

もし「自分ばかりが人のために尽くしている」「こんなにしてあげたのに、何も返してくれない」と不満に感じた時には、この 35 という数字を思い出し、自分が思っているよりも実は 35 倍も親切にされていると考えることで、うまく気持ちを切り替えることができると結ばれていました。

さらにその 400 人を 2 つのグループに分け、1 つ目のグループには、「足りないもの、手に入れたいもの」を可能な限り書き出して貰います。そして書き終わった後に、次は「自分がすでに手に入れていて、恵まれていると思うもの」を書き出すように依頼します。2 つ目のグループには、先程のグループとは逆に「恵まれていると思うもの」を先に書き出し、後で「足りないもの」を書き出して貰います。

実験の結果、どちらのグループも、最初に書き出した項目の数の方が多かったそうです。最初に足りないものに注目すると、恵まれているものが見えなくなり、逆に、恵まれているものから考え始めると、足りないものには、あまり意識が向かなくなるそうです。

自分のことを「恵まれている」と思うか、それとも「足りないものが多い」と思うかは、同じ状況であっても自分のものの見方、捉え方によって大きく変わるということになります。不足しているものを憂うことよりも、今足りているものをうまく活用できることが重要であると結ばれていました。

私たちが物事を考えるときには自分の視点が基本になります。しかしそれは 1 つの捉え方であり、そこには様々な視点が存在します。私たちは複数の視点、時には真逆の視点を持つことで物事の本質を捉え、もっと広く深く考えることができます。

「棚からぼた餅」という諺があります。積極的に働きかけたわけではないのに思いがけない幸せが手に入るという意味です。そのような経験をしたら、もちろん感謝の心が湧くはずですが、目の前に落ちてきた「ぼた餅」をただありがたいという思いだけで終わってしまうことも多いようです。

幸運に巡り会うのは、本当に偶然でしょうか。自分の行いは必ず自分に返ってくるはずですが。そして自分がぼた餅を手にするためには、それを棚においてくれた人の存在も不可欠です。色々な視点で物事を捉え、それぞれの世界を広げてくれることを大いに期待しています。



私の「心に残ったあの一言」

道徳の窓

NO67

「『みんな』って誰？」

教諭 飯嶋 英生

今から28年ほど前、あるゲームソフトが発売され、瞬く間に人気を博しました。モンスターを仲間にして、育て、バトルしたり交換したりする、当時は画期的なゲームでした。今でも大人気のシリーズですが、当時から全国的に流行し、小学校5年生だった私のクラスでも流行りだしました。「このままだと、話題に置いていかれる！」そう思った私は、母に「みんな持ってるから買ってほしい」とねだりました。母は首を横に振り、「ダメ。みんなって誰？ 言ってみな」と。私は必死に抵抗しました。「みんなだってば！ ○○くんでしょ、△△くんでしょ、□□くんと…」と10人くらいの友だちの名前を出しました。しかし、母はバツサリと「10人だけじゃん」と切り捨ててきたのです。信じられません。10人の友だちといったら、それは小5にしてみれば、世界の8割と同じ意味です。しかしここでも母は冷静でした。「あなたのクラス36人でしょ。持ってる10人と残りの26人どっちが多いの？」「…26人です」「でしょう。『みんな』持ってないんだよ。そのゲーム」と。ぐうの音も出ませんでした。

思えば、これは最近よく言われる「主語が大きい」ということなんでしょうね。「主語が大きい」というのは、同じ属性の数人のふるまいを見て、「男（女）は～だ」「日本人は～だ」というように決めつけてしまう言い回しのことです。複数のサンプルから共通項を見つけて一般化する思考は、科学的思考としては重要ですが、少なすぎるサンプルの一般化は暴論にもなりますし、個性を無視してしまうことにもなります。多様性の時代、こういった言い回しは気を付けなければならないのですね。「みんなって誰？」という問いは、現代社会を生きるキーワードになりそうです。

ちなみに、そのゲームソフトはその後、お小遣いで無事にゲットできました！



三中生の活躍



今月の『三中生の活躍』はお休みです。

今年度、『部活』改め、『クラブ活動』になりました。より一層の活躍を期待しています。

今年度も始まります！『花壇(本町四丁目)水やりボランティア』



今年度の『花壇の水やりボランティア』が始まります。

登校前7:45～8:10に活動します。1年生もぜひ参加してみたいはかがでしょうか。

- | | | |
|-----|----------|---------------|
| 第1回 | 5月14日(火) | … 本日中止 |
| 第2回 | 5月21日(火) | … 花壇植替えのため、中止 |
| 第3回 | 5月28日(火) | |

職員室前の袋に参加申込書を入れてね！